Unit
be your supporter
月刊
部品新聞
2007年9月
第23号
編集・発行　Unit

やっぱり生がいい

とはいってもビールの話ではありません。スポーツ中継の話です。

8月からいろいろなスポーツの国際大会がテレビで放送されました。

通常では野球、サッカー、相撲などや通常の番組に押されて、全日本選手権でも放送されることのない、様々なスポーツを観戦することができました。

世界トップレベルの競技者の戦いを見ることは、その競技に携わっていなくても、非常に刺激的でまたいろいろな勉強にもなります。

しかし残念なこともあります。それは生放送でないものも多かったことです。

もちろん種々の事情ですべてが可能ではないことはわかりますが、せっかくの機会を生放送でごらんになりたかった方も多かったのではないでしょうか。

生と録画の違い

これは技術的な相違点というより、やはり視聴者の緊張感の違いではないかと思います。

確かに録画でも先の展開がどうなるかわからない事は変わりません。しかし同じ時間を共有していないという気持ちが、緊張感を失わせているように思えます。結果を知ってしまっていてはなおさらです。

競技ではありませんが、長野オリンピックの開会式の生中継を留学先で深夜に見ていた時、距離は離れているが今この瞬間に起こっている出来事に、何ともいえぬ緊張感がありました。

やはり生中継の醍醐味はこの時間を共有しているという緊張感ではないでしょうか。

何を見るのか

予測できない展開、一瞬を見逃せない緊張、自分なりの戦術。人それぞれの見方があると思います。

私の場合は「タ・テ・コ・ス・マ」に焦点を当てて、見ています。（「タ・テ・コ・ス・マ」については次号にて）

そしてやはり見てみたいもの、あるいは見応えのあるものはやはり世界レベルの試合です。もちろんそこに日本人競技者がいれば最高なのですが、必ずしもそうではありません。

テレビでは日本人競技者を中心にダイジェストで放送していることも多々あります。しかしそうすることが日本のスポーツ界にとって本当によいことなのでしょうか。

見ているだけのファンにはそれで十分かもしれません。

しかし日本のスポーツ界が本当に世界と肩を並べて戦えるようになるには、単なる応援、途中経過や勝敗やだけではなく、そのスポーツの本質を伝えることが必要なのではないでしょうか。

時代を超えてルールが改正されていくものもありますが、それぞれのスポーツにおいて必ず本質があると思います。

見ることが強くなる

現在日本で頻繁に生中継をしているスポーツといえば、野球、サッカー、相撲といったところでしょうか。

これらの競技をしている人たちにとっては、頻繁に日本のトップレベルの試合を見ることができます。

しかしそれ以外のスポーツを行っている人にとっては、世界のトップはおろか、日本のトップレベルでさえ頻繁に見ることは不可能です。

ここに日本スポーツ界の弱点の一つがあるのではないでしょうか。

もちろん現地で見ることができればいいのでしょうが、それ以外のマスメディアの力を借りるしかありません。

トップレベルの試合を頻繁に見ることは、自身の競技レベルを上げることになります。

ことわざで言えば門前の小僧習わぬ経を読むといったところでしょうか。

よく環境が大事といわれますが、本人が行う環境だけでなく、頻繁にトップレベルの試合を見ることができる環境も必要ではないかと思います。

もっと生放送を

現在各競技団体は底辺の拡大の意味も含めて、ジュニア指導に躍起になっています。

各種専門家を、時には海外から招聘することは確かに重要なことです。

しかしそれと同時に世界のトップレベルを頻繁に目にする機会を、マスメディアを巻き込んで、欲を言えば生放送で、そのスポーツの本質を伝える環境を作ることも必要なのではないでしょうか。

競技団体の役職に就いている方々がそのような働きかけをすることが、そのスポーツのレベルアップや底辺拡大にも繋がるのではないでしょうか。

新商品販売開始

この度弊社では新型の携帯型血中乳酸測定器「Lactate Scout」の販売を開始いたしました。

この商品の大きな特徴は、従来品と比較して 1/4 の 15 秒と非常に短時間での測定ができることです。これにより現場でトレーニングのリズムを崩さずに、血中乳酸値の測定が可能になりました。

詳細は追ってプレスリリースにてお知らせいたします。

Unit 代表　澤野 博（さわの ひろし）

日本体育大学卒。社会人経験を経て欧州へ留学。乳酸を中心としてトレーニングを幅広く学ぶ。帰国後、部品となって競技者を支えるという意味で「Unit」を設立。競技種目、競技レベルを問わずトレーニング指導を中心に活動。医療系国家資格の臨床検査技師の資格を持つ異色のトレーニングコーチ。

ご意見、ご要望、仕事依頼、お問い合わせは下記まで。

0422-34-5055(Fax 兼用)、090-1999-2845 または sawano@team-unit.com

はみだし：初取材　どんな感じで　載るのかな　掲載先は　バイシクル21

※ご不要の場合は送付を中止させていただきますので、御社名をご連絡ください。